

愛知の中小企業、ミャンマーの金型産業強化に挑む

中島特殊鋼、JICA と連携し調査へ

国際協力機構（JICA）は8月9日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において中島特殊鋼株式会社（愛知県大府市、中島伸夫代表取締役）が提案する「高機能特殊鋼を利用する特殊金型の現地展開に関する基礎調査」（ミャンマー）を採択しました。

ミャンマー国内では、高機能金型の製造は全く行われておらず、現在製造業で使われている金型の多くは、高価な金型を輸入しているのが現状です。金型補修も海外に依存していることから、金型製造や補修の際には時間的ロスや費用がかさむのが課題となっています。

中島特殊鋼（株）の強みは、高精度の産業用特殊鋼や金型及び成形品を川上から川下まで一貫生産できる点です。同社がミャンマーにおいて高機能金型を製造することにより、金型の現地調達が可能になることから、国内部品メーカーが安心して進出できるようになり、またミャンマー国内裾野産業の広がりを通して、ミャンマー国内企業の発展の可能性も同時に広げていくことが期待されます。



ミャンマープラスチック加工協会会長訪問



マンダレー工業大学訪問

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2018年度第1回は4月に公示を行い、13件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）基礎調査2018年度第1回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2018/20180816_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 連携推進課 担当 加藤

TEL 052-533-1387 e-mail: jicacbic-psp@jica.go.jp